

死する身体 不在の身体

生きる「現実」を
死という断絶面から
照射する

2025.8.10 SUN
14:00~18:00



公開シンポジウム+展覧会

[会場]

シンポジウム: 3Fスタジオ
展覧会: 4F展示室



大阪大学中之島芸術センター

科研費
KAKENHI

死する身体 不在の身体

2025.8.10 SUN
14:00~18:00

本シンポジウムは、「死とアート」をテーマとして、生きる「現実」を死という断絶面から照射することによって、これまでの生の現実のとらえ方を深化させることを目指す。目に見え経験される現実において、生の潜在性の現れを捉えることであるともいえる。生の潜在性の現れとは、例えば、死に直面することによって逆説的に「こうありえたかもしれない」という別様の生のあり方を想起する可能性、あるいは、未来への予期や過去の出来事／記憶とが相互に浸透するような局面を指す。



- [プログラム]
- 14:00- 河合文 東京外大AA研
趣旨説明
 - 14:10- 中村恭子 大阪大
不在の物象化：書き割り風景の肉体
 - 14:40- 田中みわ子 東日本国際大
コメント1
 - 15:00- 休憩・展示鑑賞
 - 15:40- 西井凉子 東京外大AA研
不在の身体の痕跡
 - 16:10- 郡司ペギオ幸夫 早稲田大
死を生きる創造的生
 - 16:40- 丹羽朋子 国際ファッション専門職大
コメント2
 - 17:00- 質疑応答
 - 17:15- 展示鑑賞・展示室フリートーク(18:00まで)

[作品展示]

中村恭子 大阪大
《風景の肉体》シリーズ
三幅対、絹本彩色、各127.8×51 cm,
2023-2024年



《風景の肉体》三幅対(各、部分)2023-24

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-53
大阪大学中之島芸術センター 3階スタジオ、4階展示室

【日時】8月10日(日)/14:00~18:00

【参加料】無料

【問合せ先】kyoko.art@osaka-u.ac.jp (中村恭子)
kaoshintai.aa@tufs.ac.jp (東京外大 AA 研
科研「顔身体デザイン」事務局)
※東京外大 AA 研事務局 〈月・火・木：9:30-16:30〉

【共催】学術変革領域研究 (A)25H01232
「顔身体デザイン：死する身体／不在の身体」C01 計画班
中之島芸術センター研究部門基盤プロジェクト関連事業
「ポスト AI 型知能：天然知能・天然表現による創造性」